

岡山県議会議員

秋山まさひろ

県議会だより



9月9日～10月2日

令和元年9月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086)448-8833 発行人：秋山 正浩



令和元年9月岡山県議会定例会が9月9日から10月3日までの25日間で開催されました。今回の定例会におきまして、私の所属する民主・県民クラブの代表質問の内容について、質問・答弁内容の要旨を一部ご紹介致します。

被災地の復旧・復興と生き活き岡山の実現に向けた課題について

平成30年7月豪雨災害から1年2カ月が経過し、これまでの間、県は9月補正予算を含め、総額約1,279億円による豪雨災害関連予算を編成し、被災地の復旧・復興、被災者の生活再建を最優先に取り組み、併せて、生き活き岡山の実現に向けて取り組んできました。

新晴れの国おかやま生き活きプラン



新晴れの国 おかやま 生き活きプラン

平成29年度からの4年間で取り組む重点戦略や施策を盛り込んでおり、県政の最上位に位置付けられる総合的な計画。すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現を目指す。

今まで以上にスピード感を持ちながら進捗状況や現状に沿った効果的な取り組みを推進していくかなればならないと考える。10年20年先の岡山の姿を見据えた長期的視点に立ち、さまざまな課題や目標を共有しながら各種施策を進めることが重要と考えるが、「生き活き岡山の実現」に向けて、現時点で積み残された課題および、どこに的を絞つて取り組んでいくのか、知事のご決意を伺いたい。

【答弁】伊原木知事 新晴れの国おかやま生き活きプランについて、順調に進捗している施策もある一方、少子化対策など、努力を要する課題もあると考えております。引き続き、教育再生と産業振興に力を注ぐとともに、地方創生や、より災害に強い岡山の実現に重点を置いて取り組み、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現を目指してまいりたいと存じます。

地域産業振興事業について

本県の産業振興を推進すべく、岡山・産学官連



携推進会議を設立し取り組んできた。本年10月には、企業、大学と県が組織的に連携を強化し、産業振興に取り組むため、「企業と大学との共同研究センター」が設置される。このセンターを核として、自動車関連分野、IOTやAI関連分野、一〇一やA一関連分野、その他県内産業に好循環をもたらし成長が期待される分野における企業の技術開発力の向上と、若者の県内定着という好循環を促進するとのことであり、この事業が、県内産業全体の底上げを図る体制の構築ならびに、中小企業を中堅企業へと押し上げる原動力にもつながる事業となることを期待している。現時点において、どのような体制で事業が進められ、体制で事業が進められ、また、その研究もしくは開発の成果をどのように活かしていくのか、知事のご所見を伺いたい。

【答弁】伊原木知事

県内企業の技術実態に詳しい専任のコーディネーター2名を含む7名体制で、各大学のコーディネーター等と連携して、県内企業と大学研究者とのマッチングや共同研究等を推進してまいります。また、研究開発の成果は、新技術・新製品の創出はもとより、技術開発力・企画提案力に優れた魅力ある県内企業の育成につなげるとともに、これらを通じて新たな雇用の創出と優秀な学生の県内定着を促進してまいりたいと存じます。

本年上半期の県内交通事故発生状況は、前年同期と比べて人身事故件数や負傷者は減つたものの、死亡事故は35件36人と3件4人の増加となり、高齢者が被害者・加

高齢ドライバーの支援について

害者になるケースが目立つ結果となつた。また、高齢ドライバーの運転操作不適などの交通事故が増加傾向にあることから、全国的にも高齢ドライバーへの安全運転啓発活動や運転免許証返納を促す取り組みなどが実施されている。本県においては、免許証を自主返納した高齢者を支援するために「おかやま愛カード」を発行し、協賛店や協賛車でカードを提示すれば割引などのサービスを受けられる事業を行っているが、その割引部分を協賛事業者が負担する仕組みとなっています。今後、高齢化社会を迎えるにあれば、協賛事業者の負担は今まで以上に大きくなることは協賛事業の負担にも配慮した持続可能な仕組みについて、県警本部長の考え方を伺いたい。

デイネーラー等と連携して、県内企業と大学研究者とのマッチングや共同研究等を推進してまいります。また、研究開発の成果は、新技術・新製品の創出はもとより、技術開発力・企画提案力に優れた魅力ある県内企業の育成につなげるとともに、これらを通じて新たな雇用の創出と優秀な学生の県内定着を促進してまいりたいと存じます。

害者になるケースが目立つ結果となつた。また、高齢ドライバーの運転操作不適などの交通事故が増加傾向にあることから、全国的にも高齢ドライバーへの安全運転啓発活動や運転免許証返納を促す取り組みなどが実施されている。本県においては、免許証を自主返納した高齢者を支援するために「おかやま愛カード」を発行し、協賛店や協賛車でカードを提示すれば割引などのサービスを受けられる事業を行っているが、その割引部分を協賛事業者が負担する仕組みとなっています。今後、高齢化社会を迎えるにあれば、協賛事業者の負担は今まで以上に大きくなることは協賛事業の負担にも配慮した持続可能な仕組みについて、県警本部長の考え方を伺いたい。

【答弁】県警本部長

現在の日本社会は急速に高齢化が進んでいることから、運転免許返納後の「高齢者の移動手段の確保」は大変重要な課題



であると認識しております。全国的にも高齢ドライバーが関係する重大交通事故の発生は社会の関心も高く、県内におきましても、高齢ドライバーの免許返納者数は増加する傾向にあります。県警察では、運転免許を返納された高齢者の方の生活支援や移動の手段の確保を目的として、各種料金の割引等、様々なサービスが受けられる「おかやま愛カード」事業を行つています。この事業に約2,500もの事業所、店舗等が賛同し、協力をいただいていることは大変ありがたいことであると考えております。「おかやま愛カード」事業を無理なく続けていくためには、参加していただく事業所等には、利用者が増加することを前提として、サービスの内容を考えて、サービスの内容を社会全体で運転免許を返納された高齢者の生活を支えるため、今後も「おかやま愛カード」事業の充実を図り、参加事業所等が増えるように、働き掛けを行つてまいりたいと考えております。



**2019年度 中学生
全国学力テスト 正答率ランキング**

岡山県：24位(62.33%)
(他5県が同一正答率)
長野県：24位(62.33%)
長崎県：24位(62.33%)
鳥取県：24位(62.33%)
奈良県：24位(62.33%)
栃木県：24位(62.33%)

～参考～
10位：3県が同一正答率
13位：6県が同一正答率
24位：6県が同一正答率
35位：4県が同一正答率

岡山県科目別正答率ランキング
国語：17位(73.00%)
数学：15位(60.00%)
英語：32位(54.00%)

**2019年度 小学生
全国学力テスト 正答率ランキング**

岡山県：29位(64.50%)
(他5県が同一正答率)
兵庫県：29位(64.50%)
鳥取県：29位(64.50%)
栃木県：29位(64.50%)
千葉県：29位(64.50%)
福島県：29位(64.50%)

～参考～
10位：4県が同一正答率
23位：6県が同一正答率
35位：5県が同一正答率
40位：4県が同一正答率

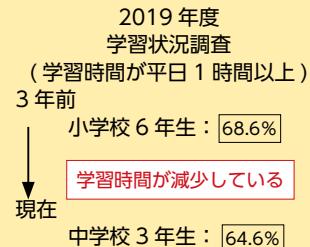
岡山県科目別正答率ランキング
国語：23位(64.00%)
算数：33位(65.00%)

全国学力・学習状況調査結果について

全国学力・学習状況調査平均正答率の全国順位で、本県の小・中学校は、ともに昨年より順位を上げたものの、同一正答率の数値変動で順位は大きく変わる結果となつた。

多少の順位変動に一喜一憂することなく、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や教育指導の改善・充実に活用するという、調査の趣旨に則った対応が必要と考えるが、今回の全国学力・学習状況調査結果に対する知事と教育長のご所見を伺いたい。

また、3年前の小学6年生と現在の中学校3年生の結果を比較分析するなど、同一集団の経年変化を分析することもできる。本年度の学習状況調査の結果を見ると、学年が上がり、学習内容も難しくなっているにも拘らず、その割合は減少している。この結果をどのように分析し、どのような問題意識を持つているのか教育長に伺いたい。



【答弁】伊原木知事
生き活きプランにおいて、「教育県岡山の復活」を最重点戦略に位置付け、毎年度の調査結果も踏まえ、教育施策の充実

に取り組んできたところであり、学力や学習習慣などにおいて一定の成果や改善の兆しも見られるところです。県教委には、調査結果を分析し、課題の克服に向け、引き続きしっかりと取り組んでもらいたいと存じます。

【答弁】教育長

今回の結果から、小学校では、自分の考えをまとめて説明することや算数の基礎的な内容の定着に、また、中学校では、国語や数学における活用力や英語の基礎的な内容の定着、家庭学習習慣などの課題があると考えております。全国調査の趣旨を踏まえ、結果の詳細な分析に基づいて、教育施策や教育指導の改善に向けた取り組みを進めてまいりたいと存じます。

主権者教育について
岡山県議会議員選挙の投票率は42・3%で過去最



より減少し、全国平均を下回っていることは課題であると認識しており、各学校が宿題の出し方や点検方法を工夫するなど取り組みを進めているところであり、その結果、年々、徐々に改善してきております。引き続き、成績を上げている学校の好事例を広く普及させるなど、学習習慣の定着に向けた取り組みを進めてまいりたいと存じます。

27・5%が全年代で最低となり、18・19歳が27.7%と次に低くなつた。投票率の向上、とりわけ若年層については、これまで県選管を中心とした様々な取り組みを行つてきたが、歯止めがかからない状況にある。現状に対する知事の受け止めについて伺いたい。併せて、今回の参議院議員選挙では、岡山県内の高校で初めて矢掛高校に期日前投票所が設けられた。また、真庭市では、実際の議場を使って、高校生が身近な地域課題について市長と質問や提案を行う高校生会議が行われてい

る。中高生などを対象に、県内各地で若者の政治意識を高める取り組みが行われているが、矢掛町や真庭市の事例等への評価を含め、今後、主権者教育を推進するにあたっての問題意識や進め方について、教育長に伺いたい。

【答弁】教育長

問題意識に等についてであります。県立高校では、県教育委員会作成の実践実例集等を活用し、各学校で工夫しながら主権者教育に取り組んでおりますが、若年層の投票率が低いことは大きな課題と認識しております。いずれも選挙や地方行政を身近なものと捉え、主権者としての自覚を高める上で有効な取り組みであると考えております。こうした取り組みも含め、地域や学校の実態を踏まえた実践的な活動が行われるよう指導してまいりたいと存じます。



真庭市議会で開催された高校生会議



矢掛高校に設置された期日前投票所

に強い危機感を持っており、幅広い県民の声が政治に反映されるため、有権者が選挙の意義をあらためて認識し、政治への関心を持つてもらうことが重要であると考えております。

知事提案説明要旨（抜粋）

平成30年7月の豪雨災害からの復旧・復興に向けた取り組みについて

被災者の生活とくらしの再建については、仮設住宅の入居者を対象とした「再建に関する意向調査」の結果、最長2年間となっている入居期間内に仮設住宅から退去することが難しい方の中に、やむを得ない事情を抱える方もいることが明らかになりましたので、仮設住宅の入居期間の延長について国と協議を始めたところであります。

メラの増設、土砂災害特別警戒区域の指定に向けた調査などを進めてまいります。また、倉敷まきび支援学校では、2学期から元の校舎での教育活動を再開し、通常の学校生活を取り戻しつつあります。

豪雨災害の検証と今後の対応

については、県内3箇所のモデル地区において、今年度中の地区防災計画等の策定を目指して取り組みを進めています。また、「障害のある人の避難行動セルフプラン」作成の仕組みを構築するため、障害者団体や市町村が一堂に会し、情報共有や課題整理を行いました。さらには、津山市において総合防災訓練を実施することとしております。引き続き、自助、共助、公助の取り組みを推進し、本県の防災力強化を図ってまいります。

学力向上については、全国学力・学習状況調査の結果では、小学校29位、中学校19位となりました。課題であつた家庭学習時間にも改善の兆しが見え始めるなど、一定の成果が表れたものと考えております。今後も、これまでの取り組みの効果検証を行い、課題の解消を着実に進めてまいります。

地域を支える産業の振興について

EVシフトについては、EVの魅力を発信するイベントを開催し、多くの方に御来場いただきました。引き続き、関連企業の研究開発や人材育成、充電設備の設置への支援など、EVシフトに対応した産業と地域の実現に向けた取り組みを進めています。

教育県岡山の復活につ
いて

AIなどの先端技術を

AIなどの先端技術を用いたスマート農業については、農業への就業人口の減少と高齢化に対応し、農業の生産性を高める新しい形として期待されています。県内2つのグループが国の事業を活用して技術の実証に取り組んでおり、その実証結果を活用し、スマート農業の地域への普及を進めています。

来月から実施される幼

児教育・保育の無償化について、市町村へ情報提供や助言を行うなど、円滑な制度の導入に努めるとともに、保育需要のさらなる増加に対応するため、保育士・保育所支援センターにおいて、保育所と潜在保育士のきめ細かなマッチングを行うなど、引き続き、保育人材の確保に取り組んでまいります。

提案諸議案等について

提案諸議案等について

一般会計補正予算案件
1件（一般会計補正予算額20億1,800余万円を増額し、補正後の一般会計予算額を歳入歳出それぞれ7,368億7,800余万円）、事件案件6件、条例案件7件、発議1件が原案通り可決され、人事案件3件が同意されました。また、請願・陳情13件につきましては、採択4件、不採択5件、継続審査4件となりました。

※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

●岡山県議会ホームページ

<http://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>



●議会映像配信 (ライブ中継・録画中継)

<http://www.okayama-pref.stream.ifit.co.jp/>

